

農 薬 種 類 別 一 覧 表 No.4

㊤ 宮川公昭商店

水稻専用薬剤

	薬 剤 名	容 量	適 用 病 害 虫 ・ 特 徴	散布濃度 100L 当
水 稲 専 用 薬 剤	オンコル粒剤	500 g 3 kg	野・稲、ミナミキイロアザミウマ・コガナ・油虫・青虫・イネミズゾウム虫等。優れた浸透移行性で高い防除効果。カーバメート系薬剤。育苗期、定植時の土壌処理(株元、植え穴、植え溝などへ施用)。稲育苗箱への使用は、田植え約3～前日に1箱当り30～60gを散粒。	10a当 3～6 kg 1株当 1 g
	コラトップ ・パック剤	50g*10	【殺菌】いもち病。そのまま畦畔から投げ込み散布できる、水溶性フィルムで包装したパック剤。 10a当 10～13 パック使用する。投げ込み後、3～4日間は灌水状態を保つ。	10a当 500～650 g
	ユートピア 粒剤・15	3 kg	《新》【除草】初・中期一発処理型除草剤。一年生、多年生の雑草を同時防除でき適用雑草幅広い。40～50日間の効果。 田植え後7～13日に灌水散布処理でき処理適期幅も長い。処理後3～4日間は止め水し、3～5cmの灌水状態を保つ。	10a当 3 ～4 kg
	クサトリエース ・Lジャンボ	30g*10	【除草】一発処理型のパック入り除草剤。一年生雑草・マツバイ・ウリカワ・ホタルイ等。田植え後、3～7日が散布適期(3～4日間は止め水)。 ない パックのまま畦畔から投げ入れ簡単に散布でき散布すると水面下ですみずみまで広がる。藻や浮草が多い水田では薬剤の広がりが悪いので使用し	10a当 300 g
	シクロパック 粒剤	60g*10	【殺虫】イネミズゾウムシ・イネドロオイ虫。畔から投げ込み散布できる水溶性フィルムで包装したパック剤(1パック 60g) 10a当10パック投げ込み、灌水処理する。約6時間後に薬剤が田全面に広がる(4～5日間止め水)。水深3cm以上保。落水、かけ流ししない。	10a当 600 g
	デルカット乳剤	500 cc	【除草】水田一年生雑草・ホタルイ・マツバイ・ミズカヤツリ・ヘラオモダカ。そのまま畦畔から簡単に散布(灌水田に原液が全面に行き渡るように)。 苗代時(田植4日前)までに散布。水深は3～5cmとし散布後4日間ほど灌水状態を保ち、落水、かけ流しをしない。	10a当 500 cc
	ヒノザン乳剤 ・30	500 cc	【殺菌】いもち・穂枯・紋枯病等。 予防と治療の両効果が有る。持続性長い。収穫21日前、3回使用。	100 cc
	ヒノ・バイジット 乳剤	500 cc	【殺虫・殺菌】いもち・穂枯・紋枯病の殺菌と、ニカメイチュウ・ウンカ・ヨコバイ等の殺虫との同時防除薬剤。 「ヒノザン」と「バイジット」との混合剤。殺虫効果は遅効性だが持続長い。収穫30日前、1回使用。	125～170 cc
	モゲトン粒剤	3 kg	【除草】ウキ草・藻類 の特効除草薬剤。ウリカワ・ヒルムシロにも効果有る。 灌水散布処理。散布後は長期間止め水し灌水状態を保つ。収穫60日前までに散粒。	10a当 3 ～4 kg
イッテツ・ ジャンボ	40g*10	除草3種の有効成分を配合した除草剤。各種一年生雑草・マツバイ・ウリカワ・ホタルイ・セリ・オモダカ・ヒルムシロ・アオミドロ等。SU系雑草にも効果 田植え後、5～15日が散布適期(3～4日間は止め水)。パックのまま畦畔から投げ入れ簡単に散布。	10a当 400 g	

◆◆◆ 注 記 ◆◆◆

- 散布濃度は一応の目安です。実際の散布では『適用作物・希釈倍率・使用時期(収穫前)・散布総回数』など薬剤にある説明書き及び注意書きを良く読み、それらの決まりを必ず守ってください。
- 本表に掲示してない薬剤については、当店にお尋ねください。
- 表中の「野 果 稲 花」は、次のような意味を持ちます。なお、各適用作物の種類の詳細は薬剤の説明書きにしたがって下さい。

野 ; 主に野菜に適する薬剤

果 ; 主に果樹に適する薬剤

稲 ; 主に水稻に適する薬剤

花 ; 主に花きに適する薬剤